

戦争法廃止、立憲主義を取り戻す 「浦和区の会」街頭宣伝・署名運動

「戦争する国づくりに反対する浦和区の会」(浦和区の会)は、昨年9月19日「戦争法」が強行可決されたあとも、「許せない」「忘れない」と安倍内閣退陣を目指し、戦争法廃止、立憲主義・民主主義を取り戻すために、浦和駅東口、パルコ前で宣伝と2000万統一署名に取り組んでいます。毎月19日を含めて、月2回行動をしています。現在、街頭署名は約300筆です。軒並み署名訪問も一部地域で開始されています。

「安倍さんは国民の生活がまったくわかっていない」「聞く耳持たずで何か恐ろしい」「戦争だけは絶対ダメ、憲法九条を壊さないで」と激励されます。安倍首相は参議院選で「改憲勢力2/3を目指す」と発言し、改憲発言が続いています。参議院選挙(あるいは、衆参ダブル選挙)は、まさに日本の未来、国の在り方が問われる非常に重大な選挙戦となります。2000万署名を成功させ、何としても、自・公を少数に追い落とす野党共闘を、立憲主義を取り戻し、平和・民主主義を願うすべての個人、あらゆるグループ、団体と手をつなぎ進めていきたいと考えています。うらわ宿読者の皆さまのご協力をお願いします。

(浦和区の会・倉林)

浦和区春のつどい

とき 3月12日(土)14時~
ところ カルトスホール

伊藤岳さんの決意表明/梅村さえこ衆議
院議員/N郎さんの「岳さんへの応援歌」
オープニング:フルートとピアノ
藤田ゆいさん&藤田信路さん

2・11埼玉県民集会

「戦争法の廃止をめざして」

高田健/戦争させない・9条壊すな・総がかり行動実行委員会

2月11日(木)13時半~ 埼玉教育会館

後援会街頭宣伝 7時~8時

12日(金)北浦和駅東口

17日(水)浦和駅西口

19日(金)北浦和駅東口

22日(月)浦和駅東口

26日(金)北浦和駅東口

浦和区の会宣伝活動 14時~16時

19日(金)浦和駅東口

耳より情報

(お詫びと訂正) 1月号で以下に間違いがありました。

お詫びをすると共に訂正させていただきます。

風花や終着に母はなし 風花や終着駅に母はなし

うらわ宿文芸

川柳

挑戦は 民意に刃向う ことと見た
口先で 甘い利を手に 知らぬふり
見ヶ料 永田町では 口利き料
(東口・さぶ老)

もち食えば 怒りむらむら 戦争法
結局は オバマさん 何をした
アベ坊ちゃん 暮らしのきびしさ
わかるまい
(岸町・だん吉)

うらわ宿文芸

一億総活躍社会
活躍より 節約で精一杯だよ
——年金生活者
(東口・さぶ老)

一票 三万円で買います
——アベ政権
(岸町・佐久間純)

俳句

初場所や琴奨菊の胸反りて
足もとの少しふろつき雪解道
小春日のふと立ち寄りし暑席かな
立山の峰々白し氷見の海
雪想まず山元村は眠りをり
(木崎一村)

編集後記

1月28日、『明日の日本を考へる』安保法制廃止に向けての浜子同志社大大学院教授の講演を聞いた。安倍政治の目指すところは「富国強兵路線」であると指摘、安倍首相は、アメリカで「アベノミクスと私の外交安全保障政策は表裏一体でございませ」と述べ、「デフレを脱却し、経済を成長させ、軍備増強を可能にすること」と質問に答えている。経済政策が国民生活の立場にないのである。とんでもない野望のもと、今の政治は進められている。このアホノミクスを倒し向こう側へ行く為に、浜教授は三つの道具を手元に準備して立ち向かうことを訴えた。その三つとは、傾ける耳、涙する目、差し伸べる手。しかるに、彼らは「聞く耳持たず」、「涙枯れ死目」、「奪い取る手」なのである。市民運動の本質を突いた指摘ではないだろうか。

戦争法廃止、立憲主義の回復をめざし、「野党は共闘」の声が広がっている。安倍政治を退陣に追い込むために、三つの道具を手元に、個人が、グループが、団体が手をつなぎ合うことが、今こそ求められている。埼玉県民はかつて、畑和革新県政を誕生させ、「憲法を暮らしに生かそう」の垂れ幕を県庁に掲げた歴史を持つ。2000万署名運動の成功に頑張らねばと思ふ。
(努庵)

日本共産党

うらわ宿

日本共産党浦和区後援会ニュース
2016年2月号 56
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

1月23日(土)、浦和区にお住まいでミュージシャンのN郎さんにインタビューしました。N郎さんは伊藤岳さんの勝ち手を引き受けるなど戦争法廃止のための活動も多方面で活躍されています。N郎さんに岳さんとの出会いや応援歌のこと、ご自身の歌のことなどを話していただきました。

* * *

本日はどうぞ宜しくお願いします。寅次郎さんも昨年12月のうらわ宿に登場していただきました。お知り合いだそうですね。

N: はい、寅次郎さんには昨年2月に私の番組に浦和スタンディングのみなさんと一緒にゲスト出演いただきました。寅次郎さんの活動のきっかけとなった越谷のパクちゃんには以前大変ご支援いただいたことがあり、そのつながりにびっくりしました。

今回のインタビューはミュージシャンのN郎さんということで、私達としてもこれまでにない異色な内容になりそうです。初めにN郎さんのプロフィールをお願いできますか。

N: 出身は青森県の五戸町というところ。高校は八戸で、平成になった頃、埼玉大学工学部建設工学科に入学しました。4年いましたが音楽・読書・サイクリングなど、好きなことばかりに熱中し、残念ながら卒業はしていません。しかし当時の埼玉大学はまだまだ自由な雰囲気があって、この大学に入って本当に良かったと思っています。両親に感謝しています。大学ではBF GA、ピギナーフォークギターアソシエーションというサークルに入って、むつめ

祭など人生最高の思い出となりました。埼玉大学は結構音楽活動が盛んで、ロック研究会とか、LMSとか色々あったのですが、うちのサークルは私が入った頃ぐらいからバンド演奏も盛んになり、その後、かなり大きなサークルとなったようです。後輩から結構有

G9 勝手連 N郎 さん



名なミュージシャンも出ています。ウラニーノというバンドや岩船ひるき君はこのサークルの後輩にあたります。岩船君とは西川口 Hearts というライブハウスで一緒に演奏したこともあります。

えー、そうだったんですか。岩船さんは埼玉の安藤ゼミとの繋がりもあり知っています。緑区の集いにもきてくれたことがありますね。

N: 西川口 Hearts は現在埼玉の若手アーティストが育って行く場所となっていて、世代の離れた彼らともそこで繋がりました。浦和には残念ながらそういう場所がありません。Hearts はもともと大宮にあったのですが西川口に移転し、岩船君も、ウラニー

ノも、YKJ という川口の人気バンドも、Hearts で育っていったと思います。埼玉大学中退後、本格的にボカルの勉強をするため代々木にある福島英先生の「ブレスヴォイストレーニング研究所」の門を叩き、数年間通ってヴォカルの基礎を学びました。しばらくはアウフヘーベンというバンド中心に活動していて、今も続いています。メンバーも仕事で忙しく、なかなか思うように活動もできないため、2007年頃から「N郎」という名前でソロでも活動を始めました。東京や埼玉でライブ活動をするようになりましたが、2008年に秋葉原に秋田犬(あきたいぬ)というアコースティックギターのライブハウスに出演するようになり、その秋田犬のオーナーである作曲家の馬場孝幸さんとの繋がり、現在、毎週すみだりヴァーという Ustream のライブ番組のパーソナリティーを務めています。馬場孝幸さんは、1980年代にめちゃくちゃ売れた作曲家で、哀川翔さんや、win k、中山美穂さん等多くの歌手やグループに曲を提供してきた方です。60代半ばを過ぎた現在でもシンガーソングライターとして精力的に活動をされている方で、毒舌とジョークを交えた話も面白い方です(笑)。長年やっているブログと番組の効果もあり、沖縄から北海道まで全国に支援してくれる方ができました。

浦和ではライブはやれませんか?
N: 各地で演奏をしながら、なんで地元でこういった活動ができないんだろうと思う時がありますね。

(2面につづく)

地元ですので是非やりたいのですがなかなか適当な場所がなくてできません。ただ大宮では土曜日の夜中に路上演奏を定期的に行っています。大宮駅東口の商店街、10時頃です。自分はそれを「大宮ナイト」と名付けていて、土曜の夜の街ゆく人たちとの会話など、楽しいですね。

いろいろお手伝いできる場所は協力したいと思いますので是非浦和でも企画しましょう。さて、勝手連でご活躍されているお話をお聞かせ願いたいのですが、伊藤岳さんとの出会いはどんな所から始まったのですか？

N：はい。私が普段主張していることと、共産党さんの主張は近いので、これまでも選挙では共産党さんに投票してきました。伊藤岳さんとはツイッターでは繋がっていましたが、直接的にはVIP埼玉がきっかけです。昨年夏の戦争法案反対の運動の中で、私もUstreamの番組で全国の若者デモの方々を紹介したり、ネットで若者デモを支援していましたが、地元で若者デモがあることを知り、VIP埼玉に連絡を取って番組にゲスト出演いただきました。その時、VIP埼玉の芦野君から、大宮デモで使う何か適当な音楽はないですかと言われ、急遽音源を作成し、提供しました。そういった繋がりがあった後、岳さんを応援している芦野君から逆に自分に連絡があり、勝手連に参加することとなりました。それとは別に、戦争法案が衆議院を通過する際、浦和の名誉のため憲法違反の法案には反対票を投じて下さいと、自民党の村井さん、民主党の武正さん、そして共産党の伊藤さんにツイッターでメッセージを送りました。有権者として。

それは凄いですね。反応はどうだったのですか？

N：何度やっても村井秀樹さんからは何の返答もありませんでした。反応があったのは、伊藤さんだけ

です。それをきっかけにツイッターで伊藤さんとやり取りしました。伊藤さんはVIP埼玉が番組にゲスト出演したことを知っていて、あのN郎さんですか！と驚いていました（笑）。ネットの威力は凄いものがあります。

本当にネットの威力は凄いですね。勝手連はどういう方がやられてるんですか？

N：勝手連の正式名称は「G9サポーターズ+NoWar」です。発起人は矢野さんという方で、もともと山本太郎さんを応援されている方ですが、今回は伊藤岳さんを応援し、支持政党を越えて、埼玉県から戦争法廃止、安倍政権の暴走ストップの声を広めていきます。他にママの会の方やお医者さんなどいろいろな方がいます。本田宏先生が名誉会長です。昨年未の望年のつどいには50人程が参加しました。

事務局はあるのですか？

N：上尾の吉村しのぶさんがやってくれています。2月14日には浦和に事務所もできるので、これまでに以上に情報発信ができるようになります。

勝手連の反応はいかがですか？

N：最初はそうでも無かったです。徐々に参加する人が増えてきています。ただ、同じ反戦を掲げながら浦和で市民運動をやられている方々の共産党さんへの距離は感じます。最後は応援するようになると思うのですが。

そうですね。9条を守るとか立憲主義を守るといって戦いで集まること、民主主義がどう育てていくかということ、大事な役割があると思います。

N：しかし先日の緑区での講演会で、小林節さんの「埼玉では伊藤岳を支持します。伊藤岳を男にしてよ」発言の影響は大きく、あれで流れが変わって来たと思います。共産党が組もうよと言っているのに、民主党が断っているというのを市民は見ています。これは大事

なことですね。

N郎さんの伊藤岳さんについての印象は如何ですか？

N：いやあ、岳さんのあの気配りは素晴らしいですね。人として誠実で信頼できます。政治家にとってもっとも必要なことだと思います。岳さんは十分備えた人です。**ライブでは政治的なことを話す時も多いのですか。どういうことを話されるのですか？**

N：そうですね。政治的というよりは歌詞の背景として話すことが多いですね。平和について、戦争について、原発もそうです。学生時代からそういう内容の歌を歌ってましたから私にとっては自然なことです。ずっとそういったことは考えてきました。

N郎さんのそうした原点はどこから来ているのですか？

N：学生時代にジャーナリストの本多勝一さんの影響を大きく受けました。その当時書いた曲には、第一次湾岸戦争や天安門事件を歌詞にした曲もあります。原発についても福島第一原発の事故が起きるずっと以前から、予測を超えた地震による原発事故の危険性や放射性廃棄物の行き場がないこと訴えた歌詞も書いてきました。歌詞で訴えたことが現実となり、ショックです。

全てN郎さんご自身の作詞、作曲なのですか？目指すところはどんなことですか？

N：曲は基本的にすべて自分で書いています。バンドメンバーとの共作もあります。目指しているところは・・・歌で表現の可能性を追求することですね、社会的なこと含め。自分の代表作に「Once」という曲がありますが、2008年から2009年にかけてイスラエル軍がガザに侵攻した際、世界はガザの人たちを見捨て、驚きました。その不条理を歌詞に含め、平和への祈りのようなものを



テーマとして書きました。今こうした歌を誰も書きませんね。自分が観てきた限りライブハウスなどでは誰ひとり歌ってない。もちろん知識がないと作れませんが、皆そこまで足を踏み入れようとしな

い。でもJ・レノンや忌野清志郎のような偉大な先輩がいるではありませんか？なぜ彼らに学ぼうとしないのか。

N：はい。浜田省吾さんは昔から好きだったのでバンドの仲間と「浜省しばり」をやったりしてました（笑）。演歌やシャンソンも歌います。18番は「愛の讃歌」や「また逢う日まで」。ヴォーカルの師である福島先生は、日本人は

シャンソンやカンツオーネを練習曲として歌うといいと話していて、当時シャンソンやカンツオーネの曲をたくさん歌いました。山下達郎さんの曲もよく歌い、声の出し方など参考としてきました。

最後になりますが、今年の目標は何でしょうか？

N：生活者として伊藤岳さんには当選してもらわないと困ります。そのためにも、「作ろう未来、埼玉」～伊藤岳を応援するテーマ、これを埼玉県で大ヒットさせることですね。秩父困民党や熊谷空襲の悲しい歴史、荒川や関東平野の雄大さも歌詞に採り入れています。この歌で埼玉県を盛り上げていきたいですね。**音楽によって広がりを作っていく**

て本当に素晴らしいことですね。後援会としても是非N郎さんの歌を広めて行けるようPRさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

N：ありがとうございました。

* * *

記事に出ていた、N郎さんのCD、ブログ「N郎's Cafe」、Ustreamレギュラー番組は次の通りです。

CD：「FINE DAYS SONG」 ¥1,500。オンラインショップ、全国お取扱店で発売中。ブログ：N郎's Cafeは、「N郎」と入力すると見れます。レギュラー番組：ぶちFM897 すみだリヴァーは毎週木曜22時「N郎ON AIRラベンダーな夜」

戦争法廃止に向け参議院選で飛躍の年

昨年12月5日（土）にとりうみ市議、伊藤岳さんを迎え、恒例の「もちつき忘年会と市政報告会」を瀬ヶ崎自治会館で行いました。前日から、もち米を洗い、豚汁の具材の下ごしらえ、あずきを煮、もちつき道具の洗い物と準備しました。野菜は、畑からとれたものを使います。おいしくないわけはありません。当日は朝早くから会場作りと、もち米をふかし、豚汁作りと大忙しです。毎年、もちをつく人がいなく苦慮しています。ぜひ次回は貴方もつき手に参加して下さいませんか！さて、あんこ、きな粉、からみもちも出来上がり、後援会員の方々総勢38人がすわり乾杯です。とりうみ市議から市政報告 マインナー制の問題、うらわサポートセンター問題、保育所の待機児童問題、どれをとっても私たちの生活に密着し、市政を変えなければとの思いいっぱいでした。伊藤岳さんから安倍政権の暴走と戦争法廃止のため国民連合政府の実現への話がされ、本人の決意がみなぎっていました。また、会員から高齢者の生活を改善してほしいなど要望が出されしっかり受け止める約束をしました。

こうした取り組みは苦労もありますが、日頃お世話になっている会員皆様の交流の場となり、笑顔と満足と勉強にもなる場として今後も続けていきます。そして、「もち」の様にねばり強く、Hさんの新そばの腰の強さでがんばっていきま～す。（瀬ヶ崎・馬場仲子）

地域だより



さくら草（元町後援会）を紹介します～元町・本太・常盤3丁目・駒場1丁目

「さくら草」は、活動目的を「申し合わせ」で、会員相互の親睦をはかるとともに、「安全、安心な町づくり」をめざして、身近な要求の実現のために奮闘している、さいたま市議会議員とともに、住民の願いを市政につなぐ活動を行い、定期的に市政報告会、レクレーション、ニュース発行などを行う、としています。

運営体制は、平山安通会長以下、7名の世話人で月一度の世話人会を開催し、運営方針や企画などを協議しています。

昨年主な活動をご紹介しますと、1月に「新年会」を開催し、2月浦和区新春のつどい、3月浦和区共産党演説会に会員さんなど地域の方々を誘い合せて参加し、4月には「とりうみさんの第2位当選の祝勝会」を開催しました。8月の「市政報告会」では、市政の現状や要望事項を語り合い、10月の「芋煮会とうたごえ」で楽しく交流しました。12月には「忘年会」を開催し、2016年への意気込み、抱負を語り合いました。もちろん、それぞれの企画にはとりうみさんにご参加いただき、親しく、楽しく交流してきました。単位後援会の大事な点は、世話人会の定期開催と各種催しを、世話人の方々を中心に協力・協働して取り組むことです。今後の課題は、「うらわ宿」の読者、現在200名弱を増やす活動と、年会費支払い会員さんを増やし、財政面でも活動を支えることです。

今年は、参議院選挙です。伊藤岳さんを必ず国会へ送り、「アベ政治を許さない」たたかいを埼玉から！の合言葉で頑張っていきます。さらに「2000万署名」を地域で全戸訪問などを通じ、目標達成に取り組んでいます。新規会員さんには、「アベ政治を許さない」のタグをプレゼントします。大いに会員さんを増やしましょう！（元町・J S）